

ヤマコンが「BCM格付」取得

コンクリート圧送最大手のヤマコン（山形市）が日本政策投資銀行（DBJ）の防災や事業継続の取り組みを評価する「BCM格付」を取得、認定証授与式が行われた。コンクリート圧送業界で同認定を取得するのは初めて。山形県の企業としては2社目となる。

ヤマコンは東日本大震災で仙台支店（仙台市）が浸水したのを機に災害に強い会社づくりに取り組む。耐震化工事や防災訓練への積極参加、調達の先多様化、優先供給協定の締結などを進めている。DBJは同時に、格付に伴う融資を実施した。融資額は非公表だが、ヤマコンの佐藤隆彦社長は「8月にも国内最大級の長さ46桁の折り畳み式アームを搭載したポンプ車を導入する」としている。